

会 議 録（概要）

会議の名称	令和元年度第2回佐渡市ケーブルテレビ放送施設番組審議会
開催日時	令和2年2月7日 14時開会 14時35分閉会
場所	佐渡市役所 第7会議室
議題	「集まれ！消防団」Part1～Part3について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>委員</p> <p>会長 塚本明人 委員 中川奈保子 委員 藤井 光 委員 本間千奈未 委員 鈴木尚美 委員 原田雅代 委員 北村 龍 委員 木村章平</p> <p>事務局</p> <p>総務課長 中川 宏 広報戦略室長 高野凡子 広報広聴係長 太田一人</p> <p>株式会社佐渡テレビジョン（指定管理者） 制作部長 林 隆行</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
塚本会長 事務局 中川課長 事務局 高野室長	あいさつ あいさつ 集まれ！消防団は、パート1を7月に、パート2を8月に、パート3を9月に放送した。消防団の役割や活動を紹介し、消防団に興味をもってもらうことを目的に制作し、毎日3回の放送を行った。パート1では新入団員研修の様子、パート2ではポンプ操法競技会の模様、パート3では女性消防隊の活動を紹介した。今後放送を予定しているパート4では総集編として消防団の活動を紹介する予定である。
北村委員	2年位前の番組審議会で審議した消防団に関する番組よりもボリュームもあり、見やすく、どのような活動をしているのかがわかったのでよかった。消防団員の活躍を見てもらうことはいいことだ。また、消防団員の報酬を取り上げていたのはよかった。
鈴木委員	消防団員が不足していることを知らない人は多い。市としてもっとアピールしていいのではないか。女性団員による啓蒙活動は、地域に密着していることが感じられ、いい活動だと思った。もっと広めていい活動だ。
原田委員	子どもと一緒に見たが、おもしろく見ることができた。消防団の多様な活動内容がわかってよかった。
木村委員	消防団の紹介が文書や写真などでまとめてあり、よくわかった。インタビューで、訓練後の新入団員の率直な感想が聞けて、よく伝わってきたと思う。
本間委員	最近、火災のニュースも多いので、テーマとして消防団の紹介を取り上げたのはよかった。ポンプ操法大会も練習風景から撮影されていてドキュメンタリー風のつくりになっており、インタビューでの消防団への入団のきっかけの話を聞けて、自分のこととして捉えることができたのがよかった。
中川委員	パート1からパート3まで一貫して番組の最初と最後に意義や募集内容のキーワードが強調されていて、消防団の大切さを理解してもらえらるようになっていたのがよかった。これはパート4でも続けてもらいたい。
藤井委員	全体を通じてよくできていた。出演していた消防職員が勤勉かつ誠実そうでよかった。原稿や資料の説明もよく精査されており、言葉もカミカミではなく、いい内容だった。また、消防団員のコメントを多用してあって、家族や所属団体の関係者の方も喜んでいるのではないか。ポンプ操法競技会に向けた練習は、南佐

<p>塚本会長</p>	<p>渡方面隊は早朝に、両津方面隊は夜に行われることから、収録するのも非常に大変だったと思う。</p> <p>本日欠席している委員の意見を紹介する。佐藤委員は、全体的にわかりやすい内容でしたが、タイトルのフォント、BGMがやや古臭く感じ、見ていると眠くなってしまいそうな感じだったので、フォントやBGMを変えるだけでも印象が変わるかもしれません。菊池委員は、消防団は身近なようで内情を全く知らないでおりましたが、この放送を見て内容が把握することができて勉強になりました。文章での説明も交えながらの解説だったため、とてもわかりやすかった。流れているBGMもマッチしていて良かった。消防団の方々を尊敬しようという気持ちに多くの人がなると思います。あまりにもリアルに活動内容を知ることができ、とにかく大変そうに見えたので、私は絶対に消防団には入りたくないと思いましたとの意見である。</p> <p>私の感想としては、パート1は順序立てて説明してあってわかりやすかった。パート2は地域に密着し、大変さや大会への思いなどの細かな部分まで伝わってきてよかった。パート3は女性団員の紹介がわかりやすかった。全体的に細かく説明してあって非常に内容が濃かった。</p> <p>以前から感じていたことだが、各集落の青年会などの団体は、消防団員を兼ねつつ、それぞれの集落を誇りに思いながら鬼太鼓などの伝統芸能や集落を守っている。機会があれば、こういった地域での彼等の活動を掘り下げてドキュメント番組を製作すると、より親しみが湧くのではないか。また、報酬を明らかにしつつ、消防団が住民のために頑張っていることを紹介したことで、消防団のありがたさがわかったのではないか。</p>
<p>北村委員</p>	<p>パート1として放送した新入団員研修を一番はじめに放送にしたのは消防団を知る者としてはつらかった。新入団員研修はそこまで興味もない気がするし、ポンプ操法大会やその練習の密着がおもしろい内容だったため、ポンプ操法競技会から放送を始めてもよかったのかもしれない。また、消防団は印象として酒を飲むだけと思われがちだが、この番組で消防団員が普段からどのような活動をしているかがわかってよかった。ポンプ操法大会を経験することでスムーズに放水できるようになるが、ホースの口が逆ではホースを接続できず水が出せない。そういうところが消防団を知らない人に伝わるのはいいことだ。</p>
<p>事務局 高野室長</p>	<p>順序立てて新入団員研修からポンプ操法大会に繋げたいとの意図で放送した。消防団員の勧誘を目的とするところがあったが、それが前面に出ると、大変な消防団の活動がクローズアップされ</p>

塚本会長	て逆効果にならないように気をつけた。
原田委員	いろいろな人が一生懸命地元のために頑張っているところは評価されるべきところだ。
木村委員	全体的にテンポが遅く、だらけてしまうところが気になった。適正な間を取るなど見やすいテンポにするといい。また、要のところに字幕を出した方が、今のテレビの見方に合うのではないか。
塚本会長	緊張感のある場面では緊迫した感じのBGMを用いてもいいという考え方もあるが、私は今のBGMでもいい。
本間委員	シリーズ物であれば、同じものを使うという考え方もあるが、同じ番組の再放送と勘違いされないようにした方がいい。
原田委員	1カットあたりの時間が長く感じた。不要な部分は編集で削ってもいいのではないか。
藤井委員	インタビューされる前の緊張感が伝わる部分は不要ではないか。
事務局 高野室長	クレームを言えばきりがない。取材される側は素人なのだから、仕方がない。上手に言葉が出なくても、一生懸命頑張っている感じが伝わってきていいのではないか。
北村委員	こちらからお願いして出演していただいているところがある。収録にあたり出演者に求めるレベルを高くすると、出演してもらえなくなる心配がある。
本間委員	それはわかる話だ。
事務局 高野室長	進行役の方は上手で、聞きやすかった。
塚本会長	この番組では、消防職員に進行役をやってもらった。
事務局 中川課長	全体的に進行はわかりやすく、聞きやすかった。年を取ってくると最近のテレビ番組のテンポは速すぎると感じる。
塚本会長	放送する番組のジャンルにもよるところがある。ドキュメンタリー番組と思って見ると、ご指摘のように感じられると思うが、ドキュメンタリーとは違うことから、関心のある部分や様々な情報が小刻みに出てこない、間延びする印象を持たれてしまうのかもしれない。
中川委員	高齢者になると、いきなり話を聞かされても最初は理解できない。ゆっくり間をおいて丁寧に話をしないと理解されないところがあるが、放送する番組によってテンポが変わってもいいのではないか。
中川委員	高齢者は今の速さでちょうどいい。主婦は何か作業をしながら見る。テンポをあまり早くすると見逃す部分が出てくる。見逃しても見たいと思えば1日3回は放送されているのだから、次の放送を見るという感覚だ。速さとしては今のままでいい。その意味

事務局 高野室長	<p>で複数回の放送があるのは、見逃しても録画することができて、ありがたい。</p> <p>インタビューで制作側の意図に沿うような答えが多かったが、そういった答えをしてくれる人の割合はどれくらいだったか。</p>
中川委員	<p>およそ3分の2程度の割合だが、インタビューしても答えてくれない人が多い。</p> <p>この番組を見て私も消防団に入っていると感じた。知人が女性消防隊に入っていて活動が楽しいと言っていた。</p>
鈴木委員	<p>15分番組なので、そんなに内容がない番組という先入観があったが、そんなことはなく、あっという間に番組が終わった感じで、よかったと思う。</p>
事務局 高野室長	<p>この番組はパート4で終了か。</p> <p>終了する予定である。</p> <p>なお、来年度に両津の女性消防隊が新潟県の代表として全国の女性のポンプ操法大会に出場することが決定したとのことで、全国大会に向けた練習から大会までを収録して番組にすることを考えている。</p>
鈴木委員	<p>両津の女性消防隊は、レガッタにも女性消防隊として出場するなど結束力が高い。</p>
事務局 高野室長	<p>収録するにあたり出演の承諾を得なくてはならず、この承諾を得る作業に苦労している。</p>
鈴木委員	<p>友人から、降雪時に消防団員が夜中でも消防車庫前の除雪をしているとの話を聞いたことがある。誰も気づかないことだが、すごいことだと思った。</p>
塚本会長	<p>以上で終了する。</p>